

アグアスだより

2016年1月号

野口英世の母

新年明けましておめでとうございます。昨年本校へのご支援に対し厚くお礼申し上げます。本年も引き続きご理解とご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前号に「子どもを信じ・励まし・見守る大人の存在」について述べました。新春号には、そのお手本となる方に登場していただこうと思います。野口英世のご母堂シカさんです。

野口シカさんは19歳で農家に嫁ぎ、英世を出産しました。ある日、シカさんが畑仕事に出た後、ハイハイをしていた2歳の英世が、火のあるイロリに手を突っ込むという不幸な事故が起きました。泣き叫ぶ英世に、シカさんはどうすることもできず、ただ傷をなめ、抱きしめるだけでした。その後、英世のやけどは治りましたが、左手の指が動かなくなりました。

英世がやけどを負ってからのシカさんは、以前にも増して働きました。自分の不注意のせいで英世にやけどを負わせてしまった。英世に野良仕事はできない。英世を学校に行かせるにはお金がいる、と考えたのです。

そのような母親の気持ちが、英世には痛いほどわかりました。しかし、手のことで友達にいじめられ、学校に行くのが嫌になってしまいます。そして、外でぶらぶらしているところを、シカさんに見つかってしまいます。英世は怒られるだろうと覚悟しました。しかし、シカさんは叱るどころか、次のように話して英世に涙ながらに詫げるのでした。「ゆるしておくれ。やけどをさせたのはお母ちゃんのせいだ。つらいだろうがここで勉強をやめてしまったら、せっかくの苦労が水の泡になるよ。私は、おまえの勉強する姿を見るのだけが楽しみなんだ。だからどうかまんしておくれ」。幼い英世の心は、母の言葉に激しく動かされます。そして、このことがきっかけとなって、学校に行くだけではなく、猛勉強を始めるようになるのです。

その後、英世は高等小学校に進学し、さらに左手の手術も成功し、医学の道を志すよう

になります。手術を受けた病院に住み込み、医学の勉強を始めます。が、そこでも同じ病院で働く仲間たちから嫌がらせを受け、たまりかねて家に帰ってきてしまいます。しかし、シカさんは、心を鬼にして、「ここで負けたら何にもならない」と夕食も食べさせず、英世を追い返してしまいます。

数年の後、医者試験に合格した英世は、アメリカへと渡り、細菌学の研究をすることになります。アメリカでも英世は死に物狂いで勉強と研究に取り組みます。同僚のアメリカ人は、「日本の野口はいつ寝るのだろう」と不思議がったといいます。そのかいあって、研究はアメリカで認められるようになります。しかし、学者としての地位が確立するにつれ、今度はなかなか日本へ帰ることができません。一方、田舎にいるシカさんは年をとり、英世に会いたくてしかたがありません。そこで、「早く帰ってきてほしい、一緒に暮らしたい」という一心から、次のような手紙を書きます。ひらがなだけで書かれた手紙には、子を思う母親の気持ちがあふれています（手紙は読みやすくするため、漢字を交えた文に直しました）。

「おまえの出世には、皆たまげました。私も喜んでおります。

どうか早く帰って来てください。

早く帰って来てください。

早く帰って来てください。

早く帰って来てください。一生のたのみであります。

西に向いては拝み、東に向いては拝んでおります。

北に向いては拝んでおります。

南に向いては拝んでおります。

ついたちには、塩断ちをしております。

栄昌様に、ついたちには、拝んでもらっています。

何を忘れてもこれは忘れません。

写真を見ると拝んでいます。

早く帰って来てください。

いつ帰れるか教えてください。

この返事を待っています。寝ても眠れません。

早く帰って来てください。」

野口英世の母シカさんの口癖は「ありがたい」だったといいます。もしも、シカさんが「英世の手ではもうだめだ」と諦めていたら、英世は左手のやけどを嘆き続けて、一生を終えていたかもしれません。しかし、シカさんは愛情をもって英世を見守り、支え、我が子の成長に感謝したのです。母親がこのような人でなかったなら、「世界の細菌学者、野口英世」は存在しなかったでしょう。帰国して、英世は、招待された会の席には必ず母親を同伴したといいます。そして、遠慮する母に向かって「私にとって、お母さんは神様のような人なのですから」と、いつも話して聞かせていたといいます。

(校長 大越邦生)

学力向上について

将来の予測が困難な複雑で変化の激しい社会のなか、新しい時代を生きる子どもたちのために、学校教育は何を準備しなければならないのかが国の中央教育審議会で議論されています。文部科学省は、これらの議論を踏まえ、次期学習指導要領について、「何を知っているか」という知識偏重ではなく、「知っていることを使ってどのように社会・世界と関われるか」と活用する力（思考力や表現力）を重視する方針を公表しました。さらには、育成すべき能力として、主体的な判断、議論を通じて力を合わせることで、新たな価値の創造の3つを掲示し、物事を多角的・多面的に見る論理的思考のほか、自国文化や異文化への理解を図ることの必要性を強調しました。

本校においては、これまで「R・PDCA 検証改善サイクル」による学力向上の取組を進めてきました。また、「基礎学力の育成を効果的に図る学習指導方法」を研究することで、子どもたちが主体的に学ぶことのできる授業づくりを推進し、思考力・判断力・表現力の育成を目指してきました。さらには、国の進めているグローバルな人材育成にも関わる英語・スペイン語力の向上、現地理解教育の推進も図ってきました。その結果、子どもたちには、基礎基本の学力を活用し、考えを深め、表現しようとする態度が育ってきています。

1月15日には、小学部でCRT学力検査、

中学部で実力テストが実施されます。これらのテスト結果は、年間の指導目標の実現状況を確認するための客観的な資料とする考えです。そして児童生徒一人一人の実態を受けて、国の教育改革も注視ながら、学校の取組を見直し、子どもたちの「確かな学力」をさらに育成していきます。

(研究主任 井上雄二)

1月行事予定

- 1月 6日(水) 転入説明会
- 7日(木) 始業式、餅つき会、書き初め会、トランスポルテ支払い
- 8日(金) ファイターズ
- 11日(月) カレーの日、委員会
- 13日(水) 避難訓練(地震)、クラブ
- 15日(金) CRT学力検査(小)、実力テスト(中)
- 18日(月) 豚井の日
- 20日(水) 授業参観、クラブ、学習展示開始(～25日まで)
- 22日(金) ファイターズ
- 23日(土) 英検②1次
- 25日(月) 先輩は語る(朝) 変更
パルケマラソン
- 27日(水) クラブ
- 29日(金) ファイターズ

本年もどうぞよろしくお願ひ
します。

来年度小学部新1年生で入学
を希望される方には、既に入
学願書依頼の連絡をしており
ます。

もし、他にも入学を希望され
る方がお近くにいらっしゃいま
したら、学校までお知らせいた
だけますと助かります。よろし
くお願ひいたします。